

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめの一步”部門」
まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	公園紙芝居で“顔の見える町づくり” “支え合う町づくり”		
団体名	紙芝居「みどり劇場」		
提案の活動を行う地域	名古屋市緑区		
提案の内容	<p>公園資源を「憩いの場」「文化教育の場」として活性化し、地域住民の顔の表情が見える、支え合う気持ちが感じ合える地域社会建設のために、その一翼を担いたいと思います。</p> <p>① 紙芝居の日常の実演活動の充実と拡大 現在、1セットの紙芝居道具で活動をしていますが、これを当面5セットに増やすとともにボランティアメンバーの増加を図ります。</p> <p>② あいさつ交流歌「こんにちは、ありがとう」のCD焼増し制作。 平成21年度の名古屋都市センター「まちづくり活動助成金」により「みどり多文化共生ボラネット」が制作した歌のCDを焼増し、紙芝居のテーマソングとして広く活用します。紙芝居実演の序曲として実演前に流し、この曲が流れると紙芝居が始まる,,,というようにします。</p> <p>③ 「こんにちは、ありがとう体操」（愛称：こんあり体操）考案。 紙芝居、あいさつ交流歌、そして「こんあり体操」の三位一体の活動とします。心と体、リズムと体操、参加者の楽しい触れ合いの場面を増やし交流を図るため、子どもから高齢者まで親しめる健康体操を考案する。</p> <p>④ ワークショップ「紙芝居、見て！やって！支え合い」を2回開催。 区民参加者への啓蒙機会を設け、活動の参画者を増やします。また、ボランティアメンバーのスキルアップを図ります。</p> <p>⑤ 第1回「みどり公園紙芝居まつり」開催 区内にある「新海池公園」で、開催趣旨に賛同する行政・地域社会・ボランティア団体・個人などが参集し開催する。この機会を通じて、区民の「紙芝居の効用」と「地域社会の支え合い」への理解を深めます。以後、定着を図り緑区民の一大交流イベントとして実績を積んでまいります。</p>		
活動期間	平成23年4月～平成24年3月	助成金交付申請額	29万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感 が得られる活動か
(提案活動の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。	
① 無縁社会、ひたたくり、振り込め詐欺等々、昨今の世相を現す言葉が氾濫しています。また、東日本大震災に学ぶ上からも地域社会が抱える課題解決には、地域住民の“支え合い”が不可欠で、そのためには“日常的に触れ合う場づくり”が効果的だと考えます。これまで推進されてきた町づくりのための「居場所づくり」は、屋内が多く内向きの感があります。今後の力点は、屋外の自然環境の中で、人々の“顔の見える”“息遣いが感じられる”触れ合いを通して育まれる「支え合いの気持ち」を呼び起こし醸成する事が大切であると考えます。 ② 活動をより効果的に推進するため、平成21年度に名古屋都市センターの助成を受け「みどり多文化共生ボラネット」が制作した“あいさつ交流歌「こんにちは、ありがとう」と連動し展開していきます。	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
① 人と人が直接触れ合い心を揺り動かす「紙芝居」、気持ちを共鳴させてくれる「あいさつ交流歌“こんにちは、ありがとう”」、健やかな身体を保ってくれる「こんにちは、ありがとう健康体操」、このクロスカップリングで“笑顔輝く創造的な生活文化の町・緑区”を構築したい。 ② ハードパワーからソフトパワーへ。幸い、緑区は名古屋市内で公園が一番多く自然環境に恵まれています。子どもから大人まで、多くの地域住民を巻き込みながら、後世に経済的な負担を残すことなく、公園を「憩いの場、教育の場、文化の場」としてソフトパワー溢れる緑区にしたい。 ③ 緑区は面積は市内2番目、人口は1番。地形は起伏に富み、旧市街地・町工場・新興住宅地あり。旧東海道・国道1号線・環状線あり。更に名鉄線・JR・地下鉄あり。しかし区内の往来は極めて不便。多様な地域の特性から“まちづくり”は町内単位のきめ細やかな対策が必要です。この意味からも町内各地にある大小の公園を最大限活かすことは極めて重要な町づくりのポイントと考えます。	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・事業予算は妥当か
時期	活動内容
平成23年4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 平成24年1月 2月 3月	① 紙芝居の実演活動の充実と拡大（現在は月2回程度） ② あいさつ交流歌「こんにちは、ありがとう」CD制作 ③ 「こんにちは、ありがとう体操」（愛称：こんあり体操）考案 ④ 1回目ワークショップ「紙芝居、見て！やって！支え合い」 ⑤ 第1回「みどり公園紙芝居まつり」開催 ④ 2回目ワークショップ「紙芝居、見て！やって！支え合い」

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書（ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。）

活動項目	内訳		金額(円)
<別紙の通り>			
計			

審査基準④ 発展性

- ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

① 平成 21 年度から始まった緑区社会福祉協議会の第 2 次地域福祉活動 5 カ年計画のテーマは、「人がつながる」で、重点目標は「誰でもできる居場所づくり」でした。ここで、「公園がたまり場“紙芝居で始まる井戸端会議”」を提案、実施計画（ハッピープラン）におり込まれ推進している事業です。

② 平成 22 年 8 月、紙芝居「みどり劇場」を 10 名で立ち上げ、緑区社会福祉協議会の協力を得て 11 月より区内の新海池公園で月 2 回活動を開始しました。

③ この 6 ヶ月間、寒さの中の推進でしたが口コミや NPO 法人とのタイアップで行なったこともあり、緑区のタウン情報紙「緑区ホームサービス」（中日新聞）にも掲載され広報されました。参加した子どもや大人などからは、次回開催の期待の声がかかるなど、少しずつ認知されてきました。

現在、紙芝居道具は一組で展開していますが、緑区社会福祉協議会、区役所まちづくり推進室や児童館・図書館、学校や他のボランティア団体との連携を強め、近い将来には 28 小学校区で展開できる体制を整えたいと考えております。今年度計画の第 1 回「みどり公園紙芝居まつり」がその起爆剤になるものと考え取り組んでまいります。

審査基準⑤ 活動実績と主体性

- ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)
- ・具体的にどんな熱意を注いでいるか

※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。
 ※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。
 この場合、公正を期するため、A4 判 3 枚（両面）までを限度とさせていただきます。

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

① 紙芝居「みどり劇場」の立ち上げの経緯は、平成 21 年度より始まった緑区社会福祉協議会地域福祉活動 5 カ年計画に基づきその実践のため発足しました。

② この会は緑区にある公園資源を「顔の見える憩いの場」「文化教育の場」として公園活性化を図る活動をしています。

③ 会則、活動風景、新聞掲載記事などについては添付資料の通りです。

※第 2 号様式は、3 ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。

活動項目	内訳		金額(円)
② 紙芝居の実演活動の充実と拡大	消耗品費	紙芝居、舞台、スタンドのぼり旗など5セット	155,000円
② あいさつ交流歌「こんにちは、ありがとう」CD制作	消耗品費	CD、ケース等200枚	10,000円
③ 「こんにちは、ありがとう体操」考案 (愛称：こんあり体操)	謝金	考案者への謝金	20,000円
	消耗品費	DVDなど	10,000円
④ ワークショップ「紙芝居、見て！やっ！支え合い」	印刷費	案内チラシ、インク等2回	13,000円
	謝金	講師謝金2回分	10,000円
	交通費	ボランティアバス代2回分	12,000円
	会議費	ペットボトル2回分	4,000円
⑤ 第1回「みどり公園紙芝居まつり」開催	印刷費	案内チラシ、インク代	13,000円
	消耗品	賞品紙芝居、表彰状、額等横断幕	12,000円
			10,000円
	交通費	ボランティアバス代	12,000円
	保険	イベント保険@30×300人	9,000円
計			290,000円